

令和 6 年度「学術交流協定校との国際シンポジウム開催支援事業」報告書
“Grant for International Symposium with Academic Partner University in FY 2024” Report Form

2024 年 11 月 7 日

実施責任者 職・氏名 Responsible faculty member(Title, Name)	教授・濱 幸雄			
シンポジウム名 Symposium title	第 17 回コンクリート構造物の長寿命化のための性能向上に関する国際シンポジウム 17 th International Symposium on Performance Improvement of Concrete structure for Long life Span (PICLS2024)			
実施期間 Date, Time	2024 年 8 月 21 日～23 日			
シンポジウムの具体的な開催内容 Describe the contents of the symposium	琉球大山田教授による日本建築学会論文賞・セメント協会論文賞受賞記念講演、ハルビン工業大学 Prof. GUAN、慶尚国立大学校 Prof. HAN による基調講演 2 題および材料関連研究の 2 セッション、構造/施工の 1 セッション、耐久性 1 セッションの合計 4 つのセッションにおいて、全 21 編の研究発表が行われた。日本、中国、韓国からの参加者により、コンクリート構造物に関連する最新の研究に関する活発な議論が行われた。			
出席者数 Number of Participants	合計/Total 75 人/Participants			
	内訳/Details			
	人数/ Number of Participants	身分/Status	国/Country	所属機関名/University Name
	28 人	教員・一般	日本	北海道大学, 室蘭工業大学, 琉球大学, 島根大学, 大阪大学, 東京理科大学, 前橋工科大学, 北海道科学大学, 八戸工業大学, 釧路工業高等専門学校, 寒地土木研究所
	10 人	教員	中国	ハルビン工業大学, 青島理工大学, 西安建築科技大学
	11 人	教員・一般	韓国	清州大学校, 韓国交通大学校, 慶尚国立大学校, 韓国建設技術研究院
	10 人	学生	日本	北海道大学, 室蘭工業大学, 琉球大学, 島根大学, 前橋工科大学
16 人	学生	韓国	清州大学校, 韓国交通大学校, 慶尚国立大学校, 慶北大学校,	
シンポジウム開催による成果 Outcome	日中韓 3 カ国のコンクリートの耐久性改善, 施工技術, 脱炭素化に関する新しい技術, 研究動向に関する情報交換, 討論を行い, 理解を深め, 将来的な共同研究の方向性, 可能性について議論した。また, 学生にとっても国際会議での英語での発表機会となり, 研究活動に対する意識向上に役立った。			
今後の展望と課題 Future prospects and issues	次回は 2025 年 8 月に中国・ハルビン工業大学の主催で開催することを決定した。今後は学生の交流も積極的に実施する予定である。			
その他 (本事業の要望等) Comment for the grant	本事業での経費支援はシンポジウム, エクスカーションの実施において大いに助かりました。感謝いたします。			



クロージングセッション



集合写真